

テルモ電子血圧計 **W5200/W3200**  
(コード番号: ES-W5200ZZ/ES-W3200ZZ)

ラク  
ラク  
**測定ガイド**



ご使用の前に

測定しましょう

記憶機能の使いかた

困ったときに

ご使用の前に必ずこの取扱説明書を  
よくお読みの上、正しくお使いください。  
また、本取扱説明書は必ず保管してください。

# 目次

## ご使用の前に

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 禁忌・禁止、注意 .....             | 3  |
| ご使用の皆様へ .....              | 4  |
| 次のものがそろっていますか .....        | 14 |
| 使用前の準備 ①電池を挿入する .....      | 16 |
| 使用前の準備 ②時計設定を行う .....      | 18 |
| 使用前の準備 ③腕帯を接続する .....      | 21 |
| 使用前の準備 ACアダプタで使用する場合 ..... | 22 |
| 使用前の準備 ④腕帯を巻く準備をする .....   | 23 |

## 測定しましょう

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1 腕帯を巻く(ハード腕帯の場合) ..... | 24 |
| 1 腕帯を巻く(ソフト腕帯の場合) ..... | 26 |
| 血圧測定のポイント(まとめ) .....    | 29 |
| 2 測定を開始する .....         | 30 |
| マークについて .....           | 34 |
| 手動で加圧する .....           | 38 |
| 測定値が高い／低いと感じたら .....    | 40 |
| 測るたびに測定値が違うと感じたら .....  | 41 |
| 血圧記録表 .....             | 42 |

## 記憶機能の使いかた

|                    |    |
|--------------------|----|
| 測定したメモリを確認する ..... | 44 |
| 測定したメモリを消去する ..... | 49 |

## 困ったときに

|                        |    |
|------------------------|----|
| 知っておきましょう .....        | 53 |
| 電池交換が必要なとき .....       | 54 |
| 故障かなと思ったら .....        | 56 |
| エラー表示が出た場合 .....       | 58 |
| 製品の取り扱い・お手入れに関して ..... | 60 |

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 仕様 .....                  | 62  |
| EMD(電磁妨害)規格に関する技術解説 ..... | 63  |
| 保証規定 .....                | 67  |
| 品質保証書 .....               | 裏表紙 |

# 禁忌・禁止、注意

安全に、正しくお使いいただくために必ずお守りください。  
表示内容に従わず、誤った使い方をしたときに生じる危害や  
損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

|                                                                                                     |                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>禁忌・<br/>禁止</b> | <p>当該医療機器の設計限界又は不適正使用等、責任範囲を超える対象及び使用方法。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本製品の性能を超える、又は不適正な使い方により、死亡又は重傷を負う可能性があるため、絶対に行ってはいけないことを示します。</li></ul>        |
|  <b>注意</b>        | <p>当該医療機器の使用にあたっての一般的な注意事項。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害※のみの発生が予想されます。</li></ul> <p>※物的損害とは、家屋、家財、及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。</p> |

# ご使用の皆様へ

## 禁忌・禁止

- 乳幼児及び小児または意思表示のできない人には使用しないでください。  
…けがや事故をおこすおそれがあります。
- MRI検査を行う際は、本品を検査室に持ち込まないでください。  
…MR装置への吸着や、熱傷等のおそれがあります。
- 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないでください。  
…誤作動や破損、爆発のおそれがあります。
- 測定結果の自己判断や自己判断による治療はしないでください。  
…必ず医師の指導、指示に従ってください。
- けがや治療中の腕では測定しないでください。  
…症状が悪化する可能性があります。
- 点滴静脈注射や輸血を行っている腕で測定しないでください。  
…けがや事故の原因となります。
- 可燃性ガスおよび支燃性ガスの近くでは使用しないでください。  
…発火、引火の可能性があります。
- 耐用回数は30,000回です。耐用回数を超えて使用しないでください。  
…測定精度を保証できません。
- 腕帯を含む付属品は指定されたものを使ってください。  
…指定外のものを用いると、誤差の原因になります。
- 不特定多数の人が対象となる医療機関や公共の場所では、使用しないでください。  
…事故やトラブルの原因になります。

## 使用上の注意

- 糖尿病、肝臓病、動脈硬化、高血圧症などで末梢循環障害あるいは不整脈のある人、妊娠中毒症を含む妊婦、乳腺切除した方、血管内挿入・治療、動静脈シャント、リンパ節の除去をした人は医師の指導に従い使用してください。  
…正しく測定できないおそれがあります。
- 腕部に重度の血行障害のある場合は、医師に相談の上、慎重に使用してください。  
…循環障害に伴う体調不良になる可能性があります。
- 透析治療中、又は抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイド剤等を使用している場合は、医師に相談の上、慎重に使用してください。…内出血を起こす可能性があります。
- 妊婦、産婦が使用する場合は、医師に相談のうえ使用してください。
- 血圧測定以外の目的に使用しないでください。
- 小児だけで使用したり、乳幼児やペットの届くところに保管しないでください。…チューブが首に絡まったり、細かい部品を飲み込んで窒息する可能性があります。

## 重要な基本的注意

- 異常加圧が発生した場合は、「スタート/ ストップ」ボタンを押してください。  
…腕帯から空気が急速に抜け、測定が中止されます。
- 血圧は以下の要因で変動します。  
…時刻や季節、高血圧治療などの薬剤、飲食（アルコールを含む）、喫煙、身体活動、精神的緊張、入浴、尿意、会話、その他の環境（病院での受診中など）、測定姿勢、不整脈。
- 本機器を、水や消毒液等に浸さないでください。
- 腕帯の締め付けにより、腕に一過性的内出血が発生し赤みが残る可能性があります。痛みを感じた場合には「スタート/ ストップ」ボタンを押し、すぐに測定を中止してください。  
…内出血による赤みが腕に残る可能性があります。
- 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないでください。

## ⚠ 注意

- 必要以上の頻度で測定を行わないでください。
- 以下の機器との併用に注意してください。
  - ・電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器（ペースメーカー、植込み型除細動器など）
  - ・装着形の医用電子機器（心電計など）
  - ・電磁波を発生する機器（電子レンジ／電磁調理器など）や電波を発生する機器（携帯電話／PHS など）
  - ・腕帯を巻いた側の腕や手に装着した医療機器
  - ・電気メスなどの手術器…誤動作や故障の原因となります。
- 透析や点滴などの血管と流体接続するシステムを使用する環境で血圧計を使用する場合には、誤ってシステムと血圧計の空気圧系を接続しないよう注意してください。  
…血管内に空気が送られて事故の原因となります。
- 騒音や振動がある場所で測定しないでください。  
…測定精度を保証できません。
- 他の機器と併用するときは、影響の有無を確かめてください。  
…誤作動する場合には併用しないでください。
- 次のような場所では使用しないでください。
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
  - ・ほこりの多い場所…誤作動や故障の原因となります。

## 使用前の注意事項

- 使用前に、取扱説明書、添付文書をお読みください。
- 使用前に上腕の周囲を測り、適用範囲内であることを確認してください。  
…適用範囲外で使用すると、誤差の原因となります。
- 不整脈がある場合は、使用前に医師に相談してください。
- 測定部位の血流が少ない場合や血管音が非常に小さい場合、不整脈のある場合、血管雑音が多い場合は、医師に相談の上、慎重に使用してください。  
…測定する方の体質や腕の形の影響により、測定値に誤差が生じることや、測定できないことがあります。

## ⚠ 注意

- 測定する腕が水や汗等で濡れている場合は、必ずよく拭き取り、乾いてから使用してください。  
…内部に水が浸入し、故障や測定値の異常の原因となります。
- 使用の前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。  
…測定値の異常や、けがの可能性にあります。
- まくり上げたシャツ等で上腕を圧迫させないでください。  
…測定値に誤差を生じることや、測定できないことがあります。
- いつも同じ腕で、手のひらを上に向けて測定してください。  
…右腕と左腕では測定値に差が出る場合があります。
- 腕帯の締め付けを、必要以上にきつくしないでください。  
…痛みを感じたら、腕帯を外してください。

### 測定中には

- 腕帯は、常に心臓の高さに保ってください。  
…高さのズレは誤差の原因となります。
- 腕帯は、測定部位に正しく装着してください。  
…誤った装着は誤差の原因となります。
- 手動加圧の場合、加圧を必要以上に高くしないでください。  
…腕に一過性の内出血が発生することがあります。
- 安静な状態で測定してください。  
…測定値が変化することがあります。
- 測定中に腕や手首、体を動かさないでください。  
…エラーが表示されることや、再加圧されることがあります。
- 腹部を圧迫した姿勢や、ひじを浮かせた状態、ひじを極端に曲げた姿勢で測定しないでください。  
…測定値が変化することがあります。
- 寒い部屋では測定しないでください。  
…血圧が高くなる可能性があります。

## ⚠ 注意

- 測定中は、血圧計やのせているテーブル等をたたかないでください。

…正確に測定できません。

- 連続測定により、うっ血した場合は、うっ血を取り除いてから測定してください。

### 取り扱い上の注意

- はさみ等鋭利なもので傷つけないでください。

…正確に測定できなくなります。

- 本品の上に重い物をのせたり、チューブを無理に縛ったりしないでください。

…誤作動、故障の原因となります。

- 不安定な場所に置かないでください。また床へ落とした場合は、使用しないでください。

…本品の外観に異常が認められない場合でも、落下等による衝撃が加えられたときには内部が破損している可能性があります。

- 本品に異物や液体が入らないように注意してください。もし入り込んだ場合には、そのままの状態で使用しないでください。

…故障の原因となります。

- 分解、修理、改造を行わないでください。

…重大な事故や誤差、故障の原因となります。

### AC アダプタを使用するときには

- 専用のAC アダプタ以外を使用しないでください。また、他の電気製品等には使用しないでください。

…火災、感電の原因となります。

- 電池交換などで機器の電池または電池端子に触れているときや、ACアダプタを抜き差しする際にACアダプタのプラグに触れているときは、他の人に触れないでください。

- AC アダプタのプラグにゴミ等を付着させないでください。

…感電及び故障の原因となります。

## 注意

- 濡れた手でACアダプタの抜き差しを行ったり、ピンセットや導電性のあるもので触れたりしないでください。
- ACアダプタのコードやコネクタが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。  
…感電やショート、発火の原因となります。
- ACアダプタのコードの上に重いものを置かないでください。…コードの破損により、火災、感電の原因となります。
- ACアダプタのコードを釘等で固定しないでください。  
…コードの破損により、火災、感電の原因となります。
- ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプタを持ってください。コネクタを本体から抜くときは、コネクタを持ってください。  
…感電及び故障の原因となります。
- AC100V以外の電源で使用しないでください。
- ACアダプタでの使用中に機器に異常が発生した場合は、コンセントからACアダプタを抜き確実に電源を切ってください。（家具などに隠れないようにしてください。）

## 電池使用上の注意

- 電池の交換は、新品の単3形アルカリ乾電池をすべて同時に行ってください。  
…違うメーカーの電池を混ぜて使用することや、古い電池を混ぜて使用することは、電池の発熱、故障の原因となります。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。
- 電池の交換は、プラス、マイナスの向きを本品の表示に合わせて、マイナス側から入れてください。  
…電池の向きを間違えて入れている場合、マイナス側の電極バネを無理に曲げて入れている場合には、電池が発熱し、故障の原因となります。
- 充電電池は使用しないでください。

## 注意

- 万一、電池が液漏れしたときには、次のことをお守りください。
  - ・電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流して、医師の治療を受けてください。  
…失明など障害の原因となります。
  - ・電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。  
…けがなどの原因となります。

### 保管するときには

- 次の使用に支障のないよう清潔に保ち、湿気の少ないところに保管してください。  
…保管温湿度は、 $-20\sim+60^{\circ}\text{C}$ 、相対湿度10～95%（結露なきこと）です。
- 長期間使用しないときは、電池を外してください。  
…液漏れなどを起こし、破損の原因となります。
- 本品は、日光や紫外線等の強い光が当たる場所に保管したり、長時間放置しないでください。  
…外装の変色や劣化が発生することがあります。
- 振動、塵埃、腐食性ガス等の多い場所に保管しないでください。
- 気圧、温度、湿度、風通し、塩分、イオン分を含んだ空気等により悪影響の生じる可能性のある場所に保管しないでください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。
- 防虫剤の入ったタンスなどに保管しないでください。
- 使用环境温度（ $10\sim40^{\circ}\text{C}$ ）の範囲外で保管していた場合は、使用环境温度（ $10\sim40^{\circ}\text{C}$ ）に1時間以上放置してから使用してください。
- しばらく使用しなかったときには、使用前に必ず作動（電源が入る、加圧するなど）を確認してください。

## 保守・点検

- 血圧計本体の表面の汚れは、ぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 血圧計本体及び腕帯、ACアダプタをアルコール、シンナー、ベンジン、ガソリン等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないでください。
- 清掃するときは、必ずACアダプタのコネクタを外してから（電池をご使用の場合は電池を本体から外して）行ってください。また、濡れた手で清掃しないでください。  
…感電や、けがの原因となります。
- 血圧計本体、及び腕帯、ACアダプタを水洗いしないでください。  
…故障の原因となります。
- ドライヤー等を使用して乾燥させないでください。  
…故障の原因となります。
- 腕帯のお手入れに洗濯機を使用したり、こすったりしないでください。  
…腕帯の汚れは、水で十分に薄めた中性洗剤で、表面をたたくようにして汚れをとります。清掃後、チューブに水が入らないように注意してしっかり乾かしてください。
- 本品は気密構造ではないので、活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や多湿環境等で使用することや、放置をしないでください。  
…装置内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により、故障の原因となります。

## 廃棄について

- 本品及び使用済みの乾電池や、ACアダプタを廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分してください。

## 製品概要

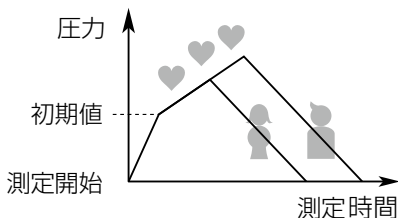
### 作動原理

動脈を腕帯で圧迫すると、心拍に合わせて脈動\*が起こり、腕帯内の圧力が脈動と同調します。この脈動は腕帯の圧迫状況に応じ変化します。オシロメトリック式の血圧計は、腕帯の圧力を徐々に変化させた時に見られる脈動の大きさの変化をもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

※脈動（みゃくどう）とはドクドクと脈打つことです。

### ファジィ加圧

本製品では、加圧時の締め付けを軽減するためにファジィ加圧を採用しています。測定が開始されると、腕帯に空気を送り腕帯内の圧力を初期値まで一気に上げます。その後、脈波を検出しながら加圧を続け、圧力が所定値を超え、測定に十分な値に達すると加圧を終了します。脈波を検出しながら加圧をすることにより、必要以上の加圧をなくし測定をスムーズにします。



## 製品概要

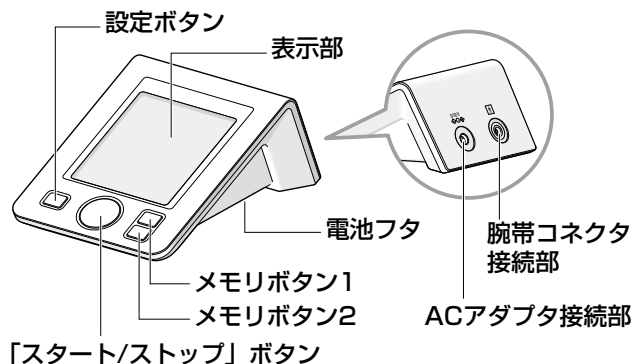


HiRS (High Resolution System) ハイレゾリューションシステムとは、測定中に取得するデータ量を従来当社製品比の約6倍にした高精度脈波間隔測定システムのことです。脈波の乱れの間隔を今まで以上に識別することが可能になりました。

# 次のものがそろっていますか

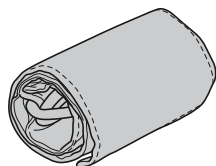
万一、不足しているものがある場合は、すぐにお買い上げの販売店又はテルモ・コールセンター(☎0120-008-178)までご連絡ください。この血圧計のコード番号は、「ES-W5200ZZ」または「ES-W3200ZZ」です。

## 本体

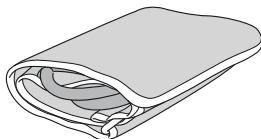


## 腕帯

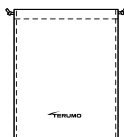
ハード腕帯  
(W5200用)



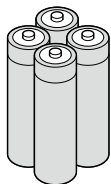
ソフト腕帯  
(W3200用)



## 収納袋



## 単3形アルカリ乾電池4本



付属の乾電池はおためし用です。電池寿命が短い場合があります。

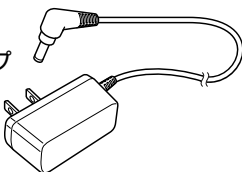
## 取扱説明書／品質保証書



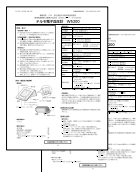
この冊子が、品質保証書を兼ねています。大切に保管してください。

## ACアダプタ

W5200にはACアダプタが同梱されています。W3200は別売です。



## 添付文書



## 画面の見かた

正常測定マーク

記録マーク  
1、2

腕帯巻きOK  
マーク

腕帯巻きNG  
マーク

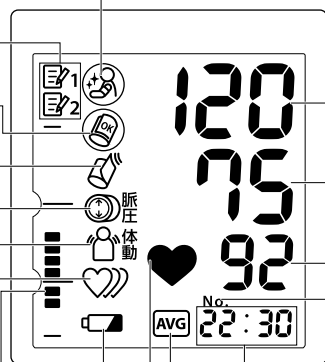
脈圧マーク

体動マーク

不規則脈波  
リズムマーク

血圧レベル表示

電池交換マーク



脈拍マーク

平均値マーク

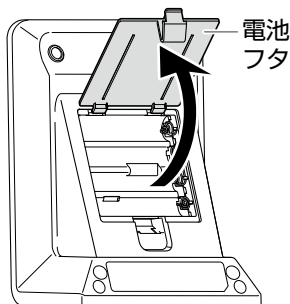
# 使用前の準備

## ① 電池を挿入する

最初にお使いいただく前に、付属の乾電池を入れてください。  
付属の乾電池はおためし用です。

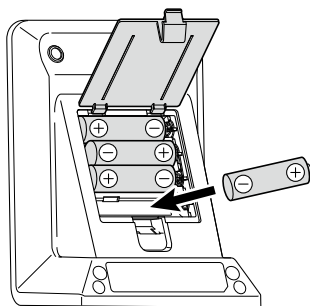
### ① 電池フタを取り外す

- 本体裏側にある電池フタの爪を押しながら外してください。



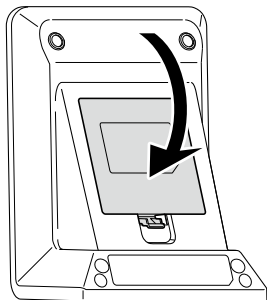
### ② 電池を入れる

- 電池の交換は、すべて同時に新品の電池（単3形アルカリ乾電池）に取り替えてください。他の違うメーカーのものを混ぜて使用しないでください。



⊕、⊖の向きを表示に合わせて、  
乾電池を⊖側から入れる

### ③ 電池フタを取り付ける



#### ⚠ 注意

- 電池フタの取り外し、取り付けでは、無理な力を入れないでください。  
…破損や故障の原因となります。

血圧値にもよりますが、約450回測定ができます。  
(新品の単3形アルカリ乾電池使用、180mmHg加圧、  
周囲温度23℃、腕周囲25.5cm)

- ・ 付属の乾電池はおためし用ですので、規定の測定回数使用できない場合があります。電池が消耗した場合は、単3形アルカリ乾電池4本をお買い求めください。

# 使用前の準備

## ② 時計設定を行う ⌚

電池を挿入する、又はACアダプタを接続すると自動的に時計設定画面になります。時計設定を行わないと血圧測定は行えません。

### ★重要★

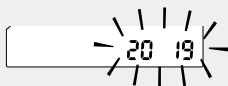
日付・時刻設定をする場合は電源が切れた状態で行ってください。

### ① 時計設定画面にする

⌚ ボタンを3秒以上押し続ける



3秒以上  
押し続ける



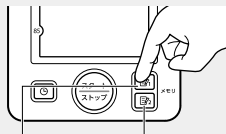
「年」の点滅に変わります。  
(初めてご使用の際は  
「2019」が点滅します)

## ②年（西暦）を合わせる

 または  ボタンを押して数字を合わせる



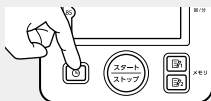
数字が増える      数字が減る  
(押し続けると早送り)



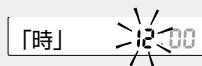
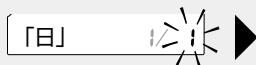
 ボタンを押す



「月」の点滅に変わります。



## ③手順②を繰り返して、月・日・時・分を設定する



必ず「分」まで設定してください。

## ●使用前の準備

### ④ ブザーが鳴ったら設定完了です

12:00

ピッ

- ・ 時計設定をやりなおすときには、一度電源を切って最初からやりなおしてください。
- ・ 時計の表示は、血圧計の電源が切れている状態でも表示されています。日付・時計表示のために消費している電力はごくわずかです。
- ・ 電池を取り外すと時刻が初期値に戻ります。（日付は電池を取り外したときの日付のままです。）  
電池交換時など電池を取り外した後は、再度設定をおこなってください。

# 使用前の準備

## ③ 腕帯を接続する

腕帯コネクタを本体背面の腕帯コネクタ接続部に接続します。コネクタが外れていたり、ゆるんでいると、正しく測定できません。



腕帯イラストはソフト腕帯(W3200 用)を代表例で記載しています。

### ⚠ 注意

- 腕帯コネクタを抜くときには、コネクタ部を持って引き抜いてください。  
…チューブを持って引き抜くと、故障の原因になります。

# 使用前の準備

## ACアダプタで使用する場合

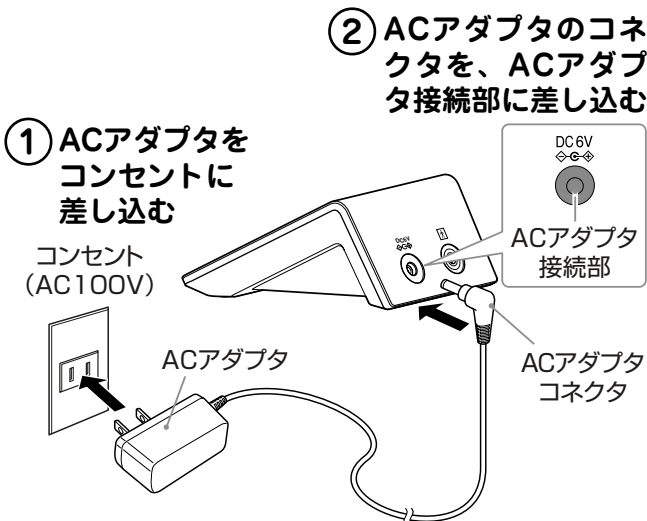
### ★重要★

ACアダプタをご使用の場合でも、本体に電池を入れてください。  
ACアダプタだけでご使用の場合、電源を抜くと設定した時刻が消去されてしまいます。

この血圧計は専用のACアダプタを接続して、家庭用コンセント（AC100V）で 사용할こともできます。

ACアダプタは、W5200は同梱、W3200は別売りです。

使用の前に



- ACアダプタを取り外すときは、ACアダプタのコネクタを血圧計から抜き、次にコンセントからACアダプタを抜いてください。

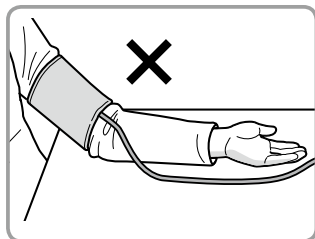
# 使用前の準備

## ④ 腕帯を巻く準備をする

### ●測定時の服装

上着やセーター、厚手のシャツなどは脱いでください。  
薄手のシャツやブラウスはそのまま測れます。

なお、まくり上げた袖で腕を圧迫しないように注意してください。



上着やセーター、厚手のシャツ

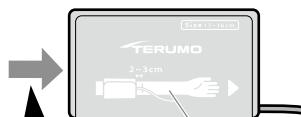


まくり上げた袖で腕を圧迫

1) 使用の前こ

### ●腕帯を巻く前に腕帯の向きを確認する

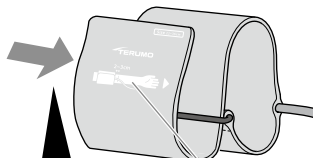
(ハード腕帯)



こちら側から  
腕を通す

イラスト

(ソフト腕帯)



こちら側から  
腕を通す

イラスト

W5200にはハード腕帯が同梱されています。

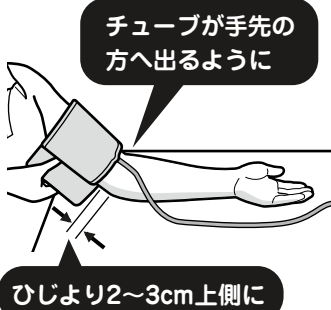
# 1 腕帯を巻く (ハード腕帯の場合)

## 正しい腕帯の巻きかた (左腕の場合)

- ① 上腕部に腕帯をかぶせる

⚠ 注意

- 腕帯は、上腕以外の場所に巻かないでください。

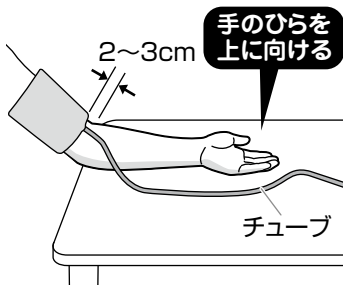


- ② 腕帯をピッタリと巻く

- 腕帯と腕の間にすき間ができないようにピッタリと巻きます。

- ③ 手のひらを上に向け  
ひじを机に付ける

- この時、無理な姿勢にならないように注意してください。



④ チューブを腕の  
中心線に合わせる



<左腕の場合>

アドバイス

左腕と右腕では血圧が異なることがあります。いつも同じ腕で測るようにしてください。

測定しましょう

W3200にはソフト腕帯が同梱されています。

# 1 腕帯を巻く (ソフト腕帯の場合)

## 正しい腕帯の巻きかた (左腕の場合)

### ① 腕帯を左腕に通す

- 腕帯の先端部が金具に通してあることを確認します。



### ② ひじの上まで腕帯を通して、巻く

- 腕帯と腕の間にすき間ができないよう、ピッタリと巻きます。

#### ⚠ 注意

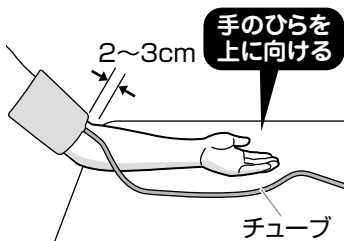
- 腕帯は、上腕以外の場所に巻かないでください。



測定しましょう

### ③ 手のひらを上に向け ひじを机に付ける

- この時、無理な姿勢にならないように注意してください。



### ④ チューブを腕の 中心線に合わせる



＜左腕の場合＞

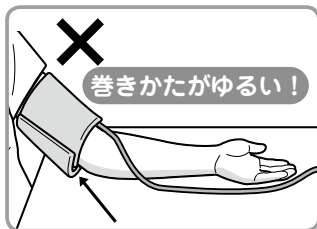
#### アドバイス

左腕と右腕では血圧が異なることがあります。いつも同じ腕で測るようにしてください。

## ●1. 腕帯を巻く

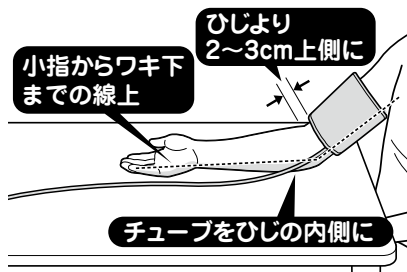
### 腕帯の巻きかたの失敗例

腕帯の巻きぐあいがゆるいと、  
正しく測れません。



### 右腕に巻く時の注意

右腕に巻く場合は、  
チューブが小指から  
ワキ下までの線上に  
くるように、位置を  
合わせてください。



## 血圧測定のポイント（まとめ）

正確な測定を行うために、次のことを心がけてください。

### 腕帯を正しく巻き、正しい姿勢で測る

毎日同じ時間帯を選び、いつも同じ腕に腕帯を巻き、正しい姿勢で測りましょう。腕帯の巻きかたについては、24～28ページで詳しく説明しています。



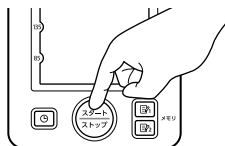
### 静かで過ごしやすい環境で測る

- ・騒音や振動のない静かな場所で測るようにしてください。また、寒い部屋では血圧が高くなる傾向があるため、なるべく快適な室内で測るようにしてください。
- ・緊張したり心が動揺していると血圧は高くなります。5分くらい安静にしてから測定してください。

## 2 測定を開始する

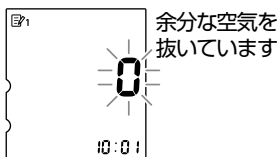
表示部に時刻以外が表示されているときは、「スタート/ストップ」ボタンを押して表示を消してください。

### ① 「スタート/ストップ」ボタンを押す



数秒後に加圧が始まり、測定を開始します。測定結果が表示されるまで動かないでください。

- 途中で止めたいときは、「スタート/ストップ」ボタンを押してください。



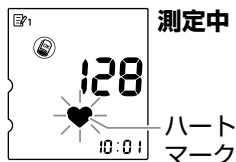
#### ⚠ 注意

- 血圧計やテーブル、机などをたたかないでください。

…正しく測定できないことがあります。

- 腕帯が正しく巻かれていると (腕帯巻き OK)、正しくない場合は (腕帯巻き NG) が点灯します。

- センサーが脈波を感じるとハートマークが点滅します。

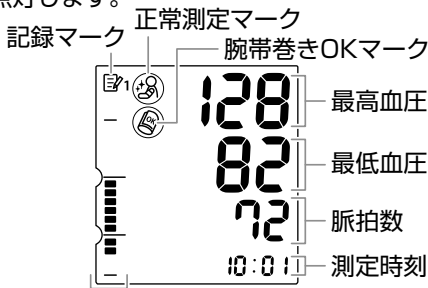


- 測定が完了すると、ブザーが2秒間鳴ります。
- 記録したいマークが点灯しているかを確認してください。E1の場合はメモリ1に記録されます。変更する場合はメモリボタン1または2を押します。



## ② 測定値を確認する

- 正常に測定された場合は、(正常測定マーク)が点灯します。



### 血圧レベル表示

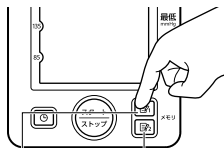
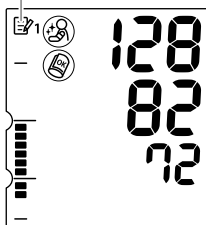
バーの下部が最低血圧で、上部が最高血圧を表します。

## ●2. 測定を開始する

### ③ 測定結果を保存する

- 本製品には 2 つのメモリ (M1 と M2) があります。メモリにはそれぞれ 60 回分の測定結果を保存できます。
  - 測定終了後、結果を記録します。
  - 保存するメモリは測定前に選択することもできます。
- 
- メモリボタンを押すと記録マークが切り替わります。保存したいメモリを選択してください。

記録マーク



メモリボタン2

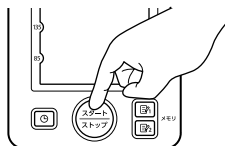
メモリボタン1

測定結果は電源を切るときに選択しているメモリに保存されます。測定後はどちらのメモリが選択されているかご確認ください。

※ E (エラー) の結果は保存されません。

## ④ 電源を切る

- 「スタート/ストップ」ボタンを押すと測定結果が保存され電源が切れます。



電源を切り忘れても、約2分経つと自動的に電源が切れ測定結果が保存されます。

## マークについて

測定時やメモリ画面に表示されるマークの説明です。



### 正常測定マーク

正常に測定された場合に点灯します。



### 腕帯巻き OK マーク

腕帯が正しく巻かれて測定された場合に点灯します。



### 腕帯巻き NG マーク

腕帯の巻き方が正しくない場合に点灯します。正しく巻き直してください。



### 脈圧マーク

脈圧（最高血圧と最低血圧の差）が65 以上の場合に点灯します。



### 体動マーク

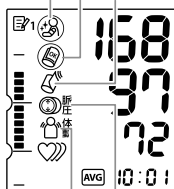
測定中に体が動いた場合に点灯します。

体動マークが点灯したときは、もう一度測定してください。

正常測定マーク

腕帯巻き  
OKマーク

腕帯巻き  
NGマーク



脈圧マーク

体動マーク

## マークについて

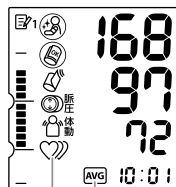
### 不規則脈波リズムマーク

測定中に検出した脈波の間隔が一定でなかった場合に表示します。

**点灯表示：**間隔が大きい場合

**点滅表示：**間隔が細かい場合

頻繁に表示される場合、ご自分では判断せずに必ず医師の指導を受けてください。



平均値マーク

不規則脈波  
リズムマーク

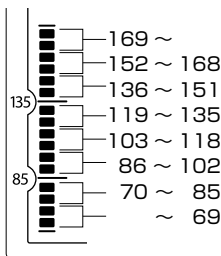
### AVG 平均値マーク

平均値は、最新の測定から 10 分以内の測定結果（最大 3 回分）の平均を表示します。（測定終了直後の画面では、平均値マークは表示されません。）

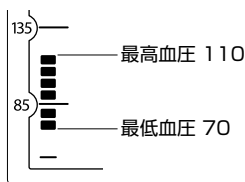
### 血圧レベル表示について

測定結果の最高血圧と最低血圧をバーで表示します。

数値によって以下のように点灯します。



表示例：最高血圧 110、  
最低血圧 70 の場合



測定しよう

## アドバイス

### E(エラー)と表示されたときは

エラーが表示されたときは、表示された数字を確認して、58～59ページをご覧ください。

測定中に動いたり手に力を入れたりすると、再度加圧がおこなわれます。再加圧では前回の値よりも約 30mmHg 位高い圧力まで腕帯が加圧されます。再加圧が数回おこなわれることもありますが、問題や故障を示すものではありません。

測定をやり直すときには、1分程度間をあけてからおこなってください。測定を続けておこなうと腕がうっ血し、正しい測定結果がでません。測定を途中でやめたときでも1分程度腕を休めてから測定してください。



# 手動で加圧する

## 再加圧が気になる場合

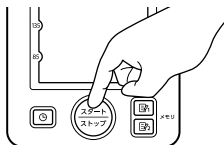
血圧値が高めで、いつも再加圧するのが気になる方は、手動加圧での測定をおすすめします。

### ① 腕帯を巻く（24～28ページ参照）

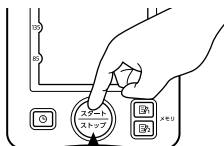
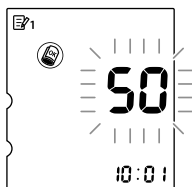
- 正しい測定姿勢については、29 ページをご参照ください。

### ② 「スタート / ストップ」ボタンを押す

- 加圧が始まります。

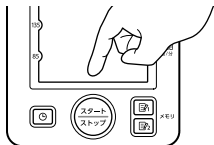


### ③ 「50」前後になってから、「スタート / ストップ」ボタンをもう一度押し続ける

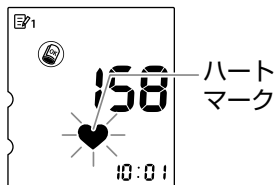


押し続ける

- ④ ご自分の予想される最高  
血圧より 40 ～ 50mmHg  
程度高くなったら指を  
はなす



- しばらくすると、脈に合わせてハートマーク(♥)が点滅します。  
測定が終わったら、測定値を記憶します。



**⚠ 注意**

- 加圧を必要以上に高くしないでください。  
…腕に一過性の内出血を引き起こすことがあります。

## 測定値が高い／低いと感じたら

### 正しい姿勢で測っていますか？

腕帯と心臓の高さを同じにすることが大切です。腕帯を巻いたら、手のひらを上に向け、ひじから先がテーブルの上にのるようにします。



腹部を圧迫



腹部が圧迫されると正しく測定できません（ソファなどの低い椅子に座ったり正座した場合）。また、ひじが浮いて不安定になったり、ひじを極端に曲げたりすると、正しく測定できません。

### ●やむを得ず、寝ながら測るときには

あおむけの姿勢をとります。測定中は天井を見て、首や体を動かさないようにします。



## 測るたびに測定値が違うと感じたら

### 毎日同じ時間帯に測っていますか？

自分が一番リラックスできるときを選んで、毎日同じ時間帯に測定することをおすすめします。



### いつも同じ腕で測っていますか？

左腕と右腕では測定値に差が出ることがあるため、いつも同じ腕で測定することが大切です。

### うっ血したまま何度も測っていませんか？

連続して測ると、血管がうっ血して値が変化することがあります。測り直すときは、腕を上げて手を握ったり開いたりして、うっ血を取り除きましょう。



# 血压記録表

記入例

年

月分

氏名

| 2/1        | 2/2        | 2/3        |
|------------|------------|------------|
| 午前<br>7:20 | 午前<br>7:00 | 午前<br>7:10 |
|            |            |            |
| 163        | 175        | 155        |
| 108        | 98         | 88         |
| 68         | 72         | 69         |
| カゼ薬        |            |            |
| カゼで発熱      |            |            |

|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------------------|-----|--|--|--|--|--|--|
| 日付                                  |     |  |  |  |  |  |  |
| 測定時刻                                |     |  |  |  |  |  |  |
| 血圧値<br>(mmHg)                       | 250 |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
| 200                                 |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
| 150                                 |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
| 100                                 |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
| 50                                  |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
|                                     |     |  |  |  |  |  |  |
| 最高血圧                                |     |  |  |  |  |  |  |
| 最低血圧                                |     |  |  |  |  |  |  |
| 脈拍(回/分)                             |     |  |  |  |  |  |  |
| 服用した薬                               |     |  |  |  |  |  |  |
| 身体状況<br>生活状況など<br>●カゼ<br>●発熱<br>●飲酒 |     |  |  |  |  |  |  |

測定しましょう



# 測定したメモリを確認する



メモリ  
ボタン

2つのメモリボタン (M1/M2) があります。

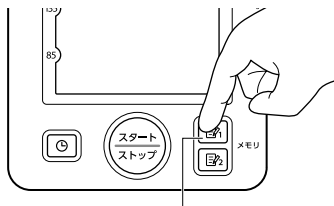
メモリには1と2があり、それぞれ60回分の測定結果を記録できます。2人分の測定結果を記録したり、朝と夕方の測定結果に分けて記録することもできます。

## メモリ表示の順番

### <メモリ1の記録を確認する場合>

ここでは、メモリ1に測定結果が複数記録された場合に表示される順番を紹介します。

使用するボタンは  
メモリボタン1のみです。



メモリボタン1

ボタンを押すことで右図の  
順番で表示されます。

ボタンを押す  
(1回目)

平均値を表示

ボタンを押す  
(2回目以降)

新しい順に  
測定値を表示

## メモリ表示の手順

### アドバイス

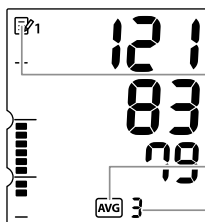
測定終了画面からメモリを見る場合は、一度「スタート/ストップ」ボタンを押してください。

### ① メモリボタンを押す (1回目)

- 最新の平均値が表示されます。



メモリボタン1



選択したメモリ  
メモリ1を押したので  
1が表示されます

平均値マーク

平均される測定結果数 (1~3)

最新の測定から、10分以内に測った測定結果 (最大3回) の平均値です。短時間に続けて測ったときの参考にしてください。

AVG 1: 10分以内に測定した1回の平均値です。

AVG 2: 10分以内に測定した2回の平均値です。

例) 9:00~9:10までに4回測定した場合

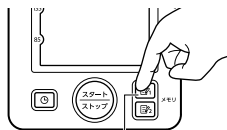
平均値はNo.1~No.3  
の平均です

| メモリ番号                                                                                                                                                                   | 最大3回分の測定結果 |       |       | No. 4 | No. 5 | ..... |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                                                                                                                                                         | No. 1      | No. 2 | No. 3 |       |       |       |
| 測定時刻                                                                                                                                                                    | 9:09       | 9:07  | 9:05  | 9:03  | 8:55  | ..... |
| <div style="text-align: center;"> <span style="border-top: 1px solid black; display: inline-block; width: 40%;"></span>                 最新の測定から10分以内             </div> |            |       |       |       |       |       |

## ●測定したメモリを確認する

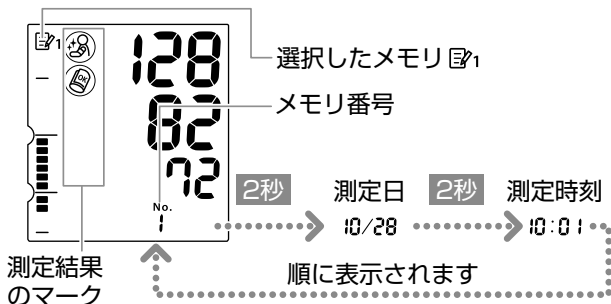
- ・10分以内に測定が複数回ない場合は **AVG** ! のみ表示されます。
- ・測定日時や測定状態マークなどは表示されません。
- ・続けて測定するときは、1分程度間をあけてからおこなってください。

### ② 続けて、メモリボタン1を押す（2回目以降）



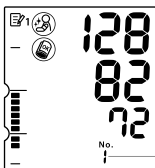
メモリボタン1

- 新しい順に測定値を表示します。  
なお、測定日／測定時刻は2秒間隔で繰り返し表示されます。

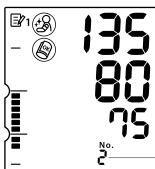


メモリボタン1を押すたびにさかのぼって表示します。

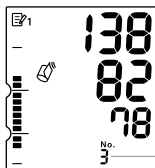
- メモリ1、メモリ2とも最大60回表示できます。



メモリ番号「1」：最新の測定結果



メモリ番号「2」



メモリ番号  
「3」

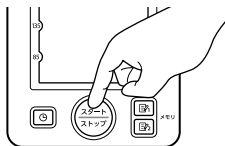


メモリ番号  
「4」、「5」、…

## ●測定したメモリを確認する

### ③電源を切るには、「スタート / ストップ」ボタンを押す

- 何も操作しなくても、約2分後に自動的に電源が切れます。



### <メモリ2の記録を確認する場合>

メモリ1の記録を確認する場合と手順は同じです。メモリボタン1の代わりに、メモリボタン2を使用して操作します。

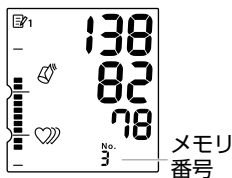
# 測定したメモリを消去する

測定メモリの消去方法には「1つずつ消去する」（49ページ）と「すべて消去する」（51ページ）の2通りがあります。メモリの消去は、この血圧計を他の人が使用した場合など、保存が不要なメモリがある場合にご利用ください。

## 1つずつ消去する

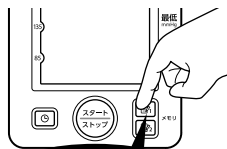
1度消去したメモリを  
元に戻すことはできません。

- ① メモリボタン1または2  
をくり返し押して、消去  
したいメモリを表示させ  
る



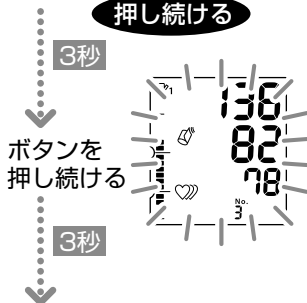
- ② 消去したいメモリの画面  
でメモリボタン1または  
2を押し続ける

- 約3秒後に表示が点滅し始めます。



押し続ける

表示が点滅している間も指  
を離さないでください。指  
を離すとメモリは消去され  
ません。

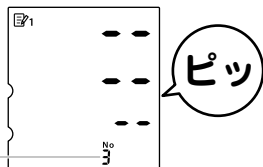


## ●測定したメモリを消去する

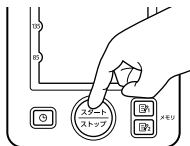
- さらに3秒後には、メモリが消去されます。

消去が完了すると、ブザーが1回鳴ります。

メモリ番号のみ表示



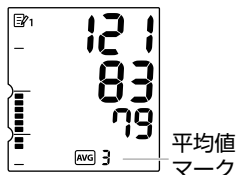
- 
- ③ 電源を切るには、「スタート/ストップ」ボタンを押す



## すべて消去する

1度消去したメモリを  
元に戻すことはできません。

- ① メモリボタン1または2  
を1回押して、平均値を  
表示させる



- ② 平均値が表示されている  
画面で、メモリボタン1  
または2を押し続ける

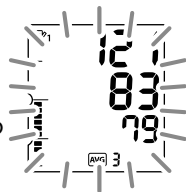


押し続ける

- 約3秒後に表示が点滅し始めます。

表示が点滅している間も指を離さないでください。指を離すとメモリは消去されません。

ボタンを  
押し続ける

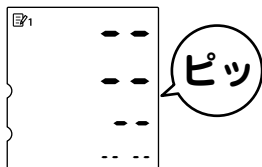


記憶機能の使いかた

## ●測定したメモリを消去する

- さらに3秒後には、すべてのメモリが消去されます。

消去が完了すると、ブザーが1回鳴ります。



- 消去完了画面が約2秒表示されたあと、電源が自動的に切れます。

# 知っておきましょう

## ●脈圧とは

脈圧とは最高血圧値と最低血圧値の差の値で、動脈硬化とも深く関係があるといわれ、循環器系危険因子のひとつとして広く研究されています。

脈圧は年齢とともに大きくなる傾向にあります。

おかしいと感じた方は、ご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。

## ●脈拍数について

脈拍数は、健康状態を知るうえで非常に大切な値です。

疲労が蓄積されていたり、体調が悪いときには、普段より多くなることがあります。

自分の安静脈拍数を知り、その日の脈拍数と比較することで、健康状態の変化を見分けるための目安となります。

## ●脈波とは

心臓が血液を全身に送り出すために収縮することによって脈波が発生します。

通常脈波は一定のリズムで発生しますが、心臓の筋肉が正常に機能しない事でリズムが乱れることがあります。

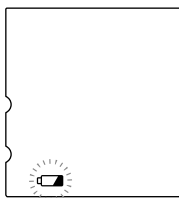
その要因としては、期外収縮や脈波間隔の乱れが細かい心房細動などがあります。

# 電池交換が必要なとき

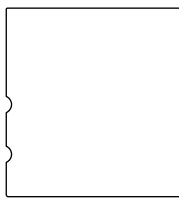
乾電池でご使用の場合、測定中に下の表示が出たときは、同じ種類の新品の単3形アルカリ乾電池4本をご用意いただき、電池の交換を行ってください。

古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因となります。

- 違うメーカーの乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間（1カ月以上）使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。



電池交換マークが  
点滅又は点灯



「スタート/ストップ」  
ボタンを押しても  
何も表示されない

- 血圧値にもよりますが、約450回ご使用になれます。  
（新品の単3形アルカリ乾電池使用、180mmHg加圧、  
周囲温度23℃、腕周囲25.5cm）

※上記の測定回数は標準的な使用条件での目安です。実際にお使いになる電池や測定条件によって異なる場合があります。

- 「スタート/ストップ」ボタンを押した直後の初期表示（表示全体が点灯）で、電池交換マークが点灯するのは、交換のお知らせではありません。
- 電池残量テスターで残量ありと表示された電池であっても、この血圧計では使用できないことがあります。

# 故障かなと思ったら

ご不審の点があるときは、まず下記の項目について確認してください。それでも測定が正常にできない場合は直ちに使用を中止して、67ページの「保証規定」をお読みの上、修理をお申し付けください。

| こんなとき                                                                                                 | 原因                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 「スタート/ストップ」ボタンを押しても何も表示されない<br>(測定が始まらない)                                                             | 電池の入れ方が間違っている。                               |
|                                                                                                       | 電池が消耗している。                                   |
| <br>電池交換マークが点滅又は点灯する | 電池が消耗している。                                   |
|                                                                                                       | 寒冷時に、電池の出力が一時的に弱くなっている。                      |
| ACアダプタを使用しているのに、電池交換マークが点滅する、又は点灯する                                                                   | ACアダプタがコンセントから外れている。又はACアダプタのコネクタが本体から外れている。 |
| 途中で測定できなくなる                                                                                           | 電池が消耗している。                                   |
| 測定値が<br>・高すぎる<br>・低すぎる<br>・測るたびに違う                                                                    | 正しい方法、姿勢で測定していない。                            |
|                                                                                                       | 血圧は1日のうちで常に、変動しています。続けて測定しても値が違う可能性があります。    |
| 脈拍数が多すぎる<br>// 少なすぎる                                                                                  | 測定中に腕や体が動いた。                                 |
|                                                                                                       | 運動直後に測定した。                                   |
| 電源が自動的に切れた                                                                                            | 測定後、約2分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。                 |
| 測定中に加圧が一度止まった後、再び加圧する                                                                                 | より正確に測定するために、再加圧を行っている。                      |
|                                                                                                       | 測定中に腕や体が動いた。                                 |

血管音が非常に小さい方／不整脈のある方／血管雑音、また、ごくまれに、体質や腕の形の影響により、測定値に誤差を生じたり、測定できないことがあります。

| 対処方法                                                         | 参照                |
|--------------------------------------------------------------|-------------------|
| 電池を正しく入れ直してください。                                             | 16ページ             |
| 4本とも同じ種類の新品の電池と交換してください。                                     | 16ページ             |
| 4本とも同じ種類の新品の電池と交換してください。                                     | 16ページ             |
| 電池を手で暖めたり、暖かい場所にしばらく放置してからお使いください。                           | —                 |
| ACアダプタをコンセント、又は本体に接続し直してください。                                | 22ページ             |
| 4本とも同じ種類の新品の電池と交換してください。                                     | 16ページ             |
| 「血圧測定のポイント（まとめ）」、「測定値が高い／低いと感じたら」、「測るたびに測定値が違うと感じたら」をご覧ください。 | 29ページ<br>40～41ページ |
| 静かな場所で、安静にした状態でいつも同じ時間に測定してください。                             | —                 |
| 測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。                                    | 30～36ページ          |
| 5分以上安静にしてから、再度測定してください。                                      | —                 |
| 故障ではありません。                                                   | —                 |
| そのまま測定し続けてください。<br>再加圧が気になる方は、手動加圧で測定してください。                 | —<br>38ページ        |
| 測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。                                    | 30～36ページ          |

# エラー表示が出た場合

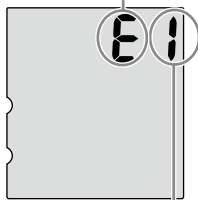
うまく測定できなかった場合、「E3」などのエラー番号が表示されます。表の対処方法に従い、再度測定してください。それでもエラーが表示される場合、67 ページの「保証規定」をお読みの上、修理をお申し付けください。その際に、エラー番号をお知らせください。

## アドバイス

### E（エラー） 表示の見方

エラーの(E)が表示されます。その横に表示された数字を確認してください。

エラーマーク



エラー番号

| エラー表示    | エラーの原因                             |
|----------|------------------------------------|
| E 1      | ・ 測定中に動いたり話をしたりした。                 |
| E 3      | ・ 測定結果が測定範囲外だった。                   |
| E 2      | ・ チューブが折れ曲がっている。                   |
|          | ・ 腕帯コネクタがしっかり接続されていない。             |
|          | ・ 腕帯が正しく巻かれていない。                   |
|          | ・ 測定中に動いたり話をしたりした。                 |
|          | ・ 腕帯が破損している。                       |
| E<br>300 | ・ 測定中に手や腕を動かしたり、話をしたため最大加圧まで加圧された。 |
|          | ・ チューブが折れ曲がっている。                   |

| 対処方法                         | 参照       |
|------------------------------|----------|
| ・測定中は動いたり話をしたりしないでください。      | 30～36ページ |
| ・しばらくしてから、再度測定してください。        | 36ページ    |
| ・チューブに折れ曲がれや、潰れがないか確認してください。 | 21ページ    |
| ・コネクタの接続を確認してください。           | 21ページ    |
| ・腕帯の巻き方を確認してください。            | 24～28ページ |
| ・測定中は動いたり話をしたりしないでください。      | 30～36ページ |
| ・販売店にお問い合わせし、新しい腕帯をご購入ください。  | 裏表紙      |
| ・測定中は動いたり話をしたりしないでください。      | 30～36ページ |
| ・チューブに折れ曲がれや、潰れがないか確認してください。 | 21ページ    |

# 製品の取り扱い・お手入れに関して

本製品には専門の知識・技能を必要とする保守点検（特定保守管理）は必要ありません。血圧計の性能は使用した回数、使用・保管方法、年数に影響を受けて劣化します。本製品の耐用期間は5年あるいは30,000回です。「自己認証（自社データ）による」

## ●製品のお手入れ

使用後は汚れなどがいないか確認してください。

血圧計本体の表面の汚れは、ぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、ガソリン、アルコールなどの溶剤は絶対に使用しないでください。製品を傷める原因になります。

腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたいて落としてください。洗濯機を使用したりこすったりしないでください。

腕帯の汚れが酷く衛生上問題がある場合は、弊社またはお買い上げの販売店へ交換をお申し付けください。（有料）

## ●製品の保管

長期間使用しないときには、電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにすると電池の液漏れが起こり製品を傷める原因になります。上には重いものをのせないでください。

次のような場所に保管、または長時間放置しないでください。故障、製品の劣化の原因になります。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
- ・ほこりの多い場所
- ・防虫剤の入ったタンス等

## ●製品の取り扱い

AC アダプタや電池の取り外しは、必ず血圧計の電源を切ってからおこなってください。故障の原因になります。ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプタを持ってください。コネクタを本体から抜くときは、コネクタを持ってください。

腕帯を血圧計から取り外すときには、コネクタを持っておこなってください。

製品の上に重いものをのせたりチューブをしばったりしないでください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

腕帯を腕に巻いていないときは加圧させないでください。故障の原因になります。

製品の分解・修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

# 仕様

|                     |                                                                                                                                |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 販売名                 | テルモ電子血圧計 W5200 / テルモ電子血圧計 W3200                                                                                                |
| コード番号               | ES-W5200ZZ / ES-W3200ZZ                                                                                                        |
| 外形寸法                | 本体：幅 114.0mm × 奥行 174.0mm × 高さ 70.4mm                                                                                          |
| 測定可能な腕周囲            | ES-W5200ZZ：約 17 ～ 36cm、<br>ES-W3200ZZ：約 22 ～ 36cm<br>(新生児、乳幼児、小児 (15 歳未満) を除く)                                                 |
| 本体質量                | 約 315g (乾電池を除く)                                                                                                                |
| 測定範囲                | 圧力表示範囲：3 ～ 300mmHg (腕帯圧力)<br>血圧測定範囲：50 ～ 250mmHg (最高血圧)<br>40 ～ 180mmHg (最低血圧)<br>脈拍測定範囲：30 ～ 199 拍/分                          |
| 精度*                 | 聴診に対する 平均誤差 ± 5mmHg 以内 /<br>標準偏差 8mmHg 以内<br>脈拍：± 5%以内                                                                         |
| 測定方式                | オシロメトリック式                                                                                                                      |
| 電源                  | DC6V (単 3 形アルカリ乾電池 4 本使用時)<br>AC100-240V 50/60Hz 0.16-0.12A(専用 AC アダプタ使用時)                                                     |
| 作動モード               | 連続作動 (開始から終了まで一連の作動をする機器の分類です。)                                                                                                |
| 消費電力                | 4W (単 3 形アルカリ乾電池 4 本使用時)                                                                                                       |
| 使用回数                | 新品の単 3 形アルカリ乾電池使用時：約 450 回使用可能<br>(180mmHg 加圧・周囲温度 23℃・腕周囲 25.5cm)                                                             |
| 使用環境                | 温度：10 ～ 40℃、相対湿度：15 ～ 85% RH (ただし結露なきこと)                                                                                       |
| 輸送・保管環境             | 温度：- 20 ～ 60℃、相対湿度：10 ～ 95% RH (ただし結露なきこと)                                                                                     |
| 電撃保護                | 内部電源機器 BF 形装着部 (乾電池使用時)<br>クラス II BF 形装着部 (専用 AC アダプタ使用時)                                                                      |
| 水又は粒子物質の有害な浸入に対する保護 | IP20 (指の侵入に対する保護。水の浸入に対する保護は無し。)                                                                                               |
| 耐用期間                | 5 年あるいは 30,000 回 (自己認証による)                                                                                                     |
| 類別                  | 機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具                                                                                                          |
| 付属品                 | 取扱説明書 / 品質保証書・添付文書 / 単 3 形アルカリ乾電池 4 本 (おためし用) / 専用 AC アダプタ (UM305-0605、製品コード：XX-ES354) (AC アダプタは ES-W5200ZZ のみに同梱されています) / 収納袋 |

\*試験方法は、ISO81060-2: 2013 に基づき性能試験を実施しております。

本製品は 1 気圧の環境下での使用を想定しております。

☐：クラス II 機器    人：BF 形装着部    電：付属文書を読んでください。    水：水濡れ厳禁

**EMD 適合** 本製品は、EMD (電磁妨害) 規格 JIS T 0601-1-2:2018 (IEC60601-1-2:2014) に適合しております。

CISPR グループ分類：グループ 1 クラス分類：クラス B

仕様は商品改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

# EMD（電磁妨害）規格に関する技術解説

テルモ電子血圧計 W5200／テルモ電子血圧計 W3200 は、EMD（電磁妨害）規格 IEC60601-1-2:2014 に適合しています。規格への適合に関する情報については以下をご参照下さい。

医用電気機器であるテルモ電子血圧計 W5200／テルモ電子血圧計 W3200 の使用においては、電磁妨害に関する特別な注意が必要であり、以下の情報に従って使用される必要が有ります。

- ・機器は、高周波手術機器や磁気共鳴画像 (MRI) 装置の近傍など、電磁妨害の強さが高い環境での使用を意図していません。
- ・機器を、他の機器に隣接させて、又は積み重ねて使用しないで下さい。不適切な動作の原因となります。
- ・機器の製造者によって規定されているか、又は提供されるもの以外の付属品を使用すると、機器の電磁エミッションが増加するか、又は電磁免疫性が減少し、不適切な動作の原因となる可能性があります。
- ・機器の性能の低下の原因となる可能性があるため、携帯型の RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、AC アダプタのケーブルを含めて、機器のどの様な部分からも 30cm 以上離して使用してください。

## 電磁エミッション

| エミッション試験                   | 適合性    | 電磁環境 ガイダンス                                                                                                          |
|----------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| RF エミッション<br>CISPR 11      | グループ 1 | テルモ電子血圧計 W5200／テルモ電子血圧計 W3200 は内部機能のためにのみ RF エネルギーを使用している。従って RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。       |
| RF エミッション<br>CISPR 11      | クラス B  | テルモ電子血圧計 W5200／テルモ電子血圧計 W3200 は、以下を含むすべての施設での使用に適用する。含むのは、家庭用施設、および家庭目的のために使用される建物に電力を提供する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設である。 |
| 高調波電流<br>IEC 61000-3-2     | クラス A  |                                                                                                                     |
| 電圧変動／フリッカ<br>IEC 61000-3-3 | 適合     |                                                                                                                     |

## 電磁イミュニティ

### エンクロージャーポート

| 現象                   | 基本 EMC 規格又は試験方法 | イミュニティ試験レベル                                     |
|----------------------|-----------------|-------------------------------------------------|
| 静電気放電                | IEC 61000-4-2   | ± 8kV 接触<br>± 2kV, ± 4kV, ± 8kV, ± 15kV 気中      |
| 放射 RF 電磁界            | IEC 61000-4-3   | 10V/m<br>80MHz - 2,7GHz<br>1kHzで 80%AM          |
| RF ワイヤレス通信機器からの近接電磁界 | IEC 61000-4-3   | 下記表、「RF ワイヤレス通信機器に対するエンクロージャーポートのイミュニティの試験仕様」参照 |
| 定格電力周波数磁界            | IEC 61000-4-8   | 30A/m<br>50Hz 又は 60Hz                           |

### 入力交流電力ポート

| 現象                                 | 基本 EMC 規格      | イミュニティ試験レベル                                                                                                                                                    |
|------------------------------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電氣的 高速過渡現象ノバースト                    | IEC 61000-4-4  | ± 2kV 100kHz 繰り返し周波数                                                                                                                                           |
| サージ (ライン間)                         | IEC 61000-4-5  | ± 1kV                                                                                                                                                          |
| RF 電 磁 界 に よ っ て 誘 導 さ れ る 伝 導 妨 害 | IEC 61000-4-6  | 3V<br>0,15MHz - 80MHz<br>0,15MHz ~ 80MHz の 間 の ISM 及 び アマチュア無線帯域内で 6V<br>1kHzで 80%AM                                                                           |
| 電圧ディップ                             | IEC 61000-4-11 | 0%U <sub>T</sub> ; 0,5 サイクル<br>0°, 45°, 90°, 135°, 180°, 225°, 270° 及び 315° で<br>0%U <sub>T</sub> ; 1 サイクル<br>及び<br>70%U <sub>T</sub> ; 25/30 サイクル<br>単相: 0° で |
| 電圧中断                               | IEC 61000-4-11 | 0%U <sub>T</sub> ; 250/300 サイクル                                                                                                                                |

## RF ワイヤレス通信機器に対するエンクロージャーポートのイミュニティの試験仕様

| 試験周波数 (MHz) | 帯域 (MHz)    | サービス                                                                         | 変調                          | イミュニティ試験レベル (V/m) |
|-------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------|
| 385         | 380 - 390   | TETRA 400                                                                    | パルス変調<br>18Hz               | 27                |
| 450         | 430 - 470   | GMRS 460,<br>FRS 460                                                         | FM $\pm$ 5kHz 偏差<br>1kHz 正弦 | 28                |
| 710         | 704 - 787   | LTE 帯域 13, 17                                                                | パルス変調<br>217Hz              | 9                 |
| 745         |             |                                                                              |                             |                   |
| 780         |             |                                                                              |                             |                   |
| 810         | 800 - 960   | GSM 800/900,<br>TETRA 800,<br>iDEN 820,<br>CDMA 850,<br>LTE 帯域 5             | パルス変調<br>18Hz               | 28                |
| 870         |             |                                                                              |                             |                   |
| 930         |             |                                                                              |                             |                   |
| 1720        | 1700 - 1990 | GSM 1800;<br>CDMA 1900;<br>GSM 1900;<br>DECT;<br>LTE 帯域 1, 3, 4, 25;<br>UMTS | パルス変調<br>217Hz              | 28                |
| 1845        |             |                                                                              |                             |                   |
| 1970        |             |                                                                              |                             |                   |
| 2450        | 2400 - 2570 | Bluetooth, WLAN,<br>802.11 b/g/n, RFID<br>2450, LTE 帯域 7                     | パルス変調<br>217Hz              | 28                |
| 5240        | 5100 - 5800 | WLAN 802.11 a/n                                                              | パルス変調<br>217Hz              | 9                 |
| 5500        |             |                                                                              |                             |                   |
| 5785        |             |                                                                              |                             |                   |



## 保証規定

- (1) 保証期間は、お買い上げ後1年です。
- (2) ご使用中、故障が発生した場合は下記の受付先に、修理をご依頼ください。  
なお、保証期間を過ぎている場合は、テルモ・サービスセンターへの送料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 保証期間中に、通常のご使用において万一故障が発生したときは無償修理いたします。
- (4) ただし、下記の場合は保証期間中でも有償になります。
  - イ. ご使用上で取り扱いの過誤により発生した故障。
  - ロ. 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
  - ハ. 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
  - ニ. 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  - ホ. 消耗部品。
  - ヘ. 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
  - ト. 品質保証書のご提示がない場合。
  - チ. 品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合、また、字句を書き換えられた場合。
- (5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

修理受付先：テルモ・コールセンター TEL 0120-008-178

